



かわすみ さやか
川澄爽香とは
学年が違うし
同じ部活
というわけでもない

それでも
その名前を
知っていたのは

彼女がちょっとした
有名人だったからだ



エッてんしよ!
さやか

「1年に可愛くて
胸の大きい子がいる」

入学時
そう噂になった彼女の
クラスには
その姿を一目見ようと
何人もの男子が訪れた
らしい

そんな彼女と
俺が出会ったのは
入学式から数日後の事

学校の帰り道
自転車のチェーンが
外れて困っている
のを見掛けたので
直してあげたのが
切っ掛けだった

その時は相手の顔も
ろくに見ずに
その場で別れたが

後日 同じ場所で
再会した際
改めてお礼を言われ
お互い自己紹介をした

そこで初めて
彼女が噂の
川澄爽香だと
知った

…なるほど
確かに可愛いし
胸も大きい



それを鼻に掛けない
控え目な態度には
奥ゆかしさがあり
明るい笑顔には
人を惹きつける
魅力があった

それから彼女とは
お互い見掛けると
挨拶する仲になり
少しずつ仲良く
なっただけだった



彼女と過ごす時間は
とても心地よく
もっと一緒にいたい
と思うようになった

彼女もそう思っ
てくれていたら
結構



俺たちは
付き合っ
てなっ
た



先輩 あ

A young woman with long brown hair and a pink hair clip stands in a hallway. She is wearing a dark blue school uniform consisting of a cardigan, a white collared shirt with a red bow, and a dark blue pleated skirt. She is holding a dark blue bag. Behind her is a staircase with wooden railings. To the left, there is a window and a storage cabinet. The scene is lit with a soft, blueish light.

お待ち
たせ
しまし
た

じゃあ
行こう
か

今日から試験期間で
部活が休みのため
俺たちは一緒に
帰る約束をしていた

今日
自転車じゃないのは
俺に合わせて
くれたのか？

はい

そっか
ありがとな
家まで送るよ




えでも
少し遠い
ですよ？

もつと
さやかと一緒に
いたいんだ

通学路
文
ひまわり





じゃあ家に
寄っていき
ますか？

この時間
誰もいないので

…いいのか？


夕方には
お母さん帰って
くるから
それまでなら

分かった

何だ
あわよくば
エッチでできるかも
って思ったんだが…

まあ
今は部屋に
上がれるだけでも
よしとするか






不思議：
いつも過ごしてる
この部屋に先輩が
いるなんて



何だか
少し緊張
します



これが
さやかのお部屋…
ああ…
いい匂いがする

それに
さつきから見えてる
太ももの奥に佇む
白い聖域…

?

やばい
めっっちゃ又きたたく
なつてきた...



どうしたん
ですか？
険しい顔して…

え？
いや…



何か別のことを
考えないと...



卒業アルバム
とかある？


見ますか？
少し照れる
けど…



あつこれ
さやか？

はい

ロリさやか
かわええええええ！



ふくらみ始めた
乳房の形が
浮き出ている…

同級生はこれで
シコったん
だらうなー
くそー

隣に写ってる子は
幼稚園から
ずっと一緒に
今も同じクラス
なんですよ

へえ〜

羨ましいいな
俺 2回も転校して
そういう友達
いないから…

ここに来るまでは
ずっと田舎暮らし
だったんですよね？

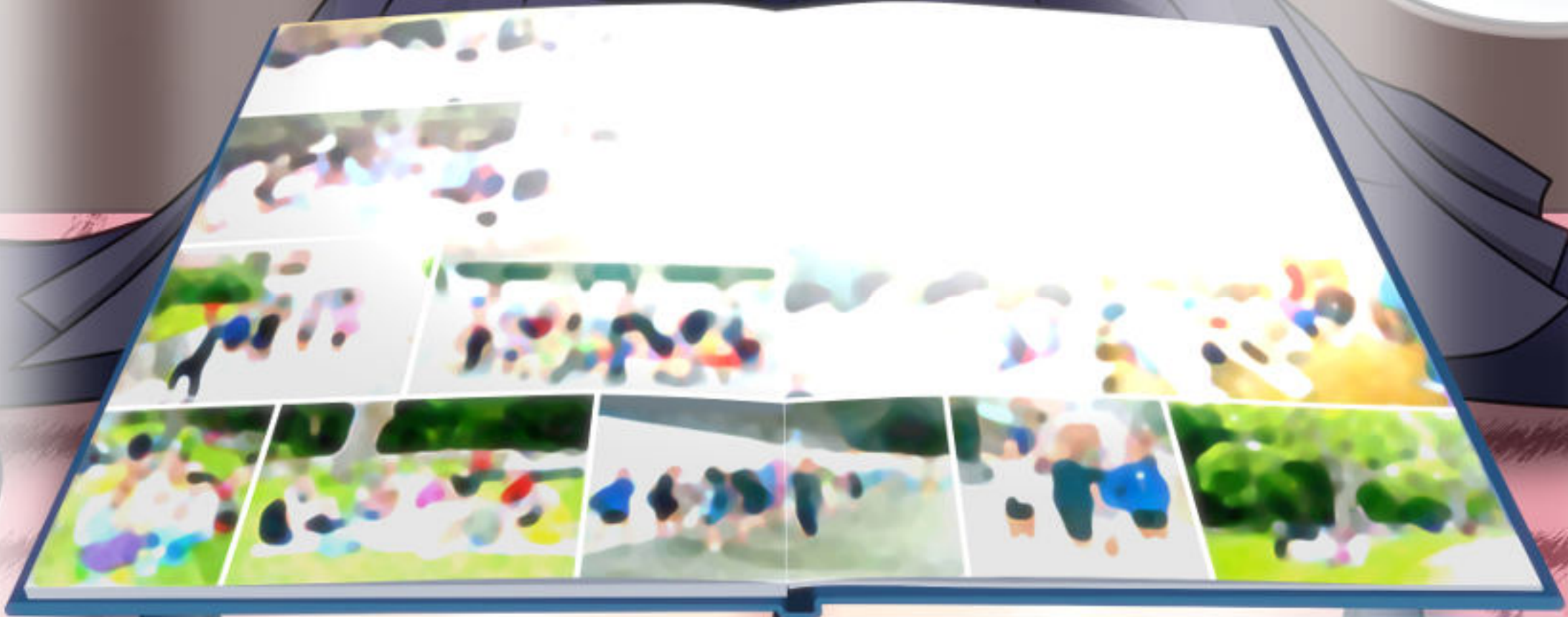
ああ
閉鎖的な分
絆が深くて
皆仲良しだったよ




こつちに来た時
早く友達が欲しくて
色んな人に話し掛け
ただけど
戸惑う人もいてさ

田舎での
人との接し方が
通用しなくて
困ったよ

.....






…だからなのかな
先輩の空気感って
他の人と違うって
いうか

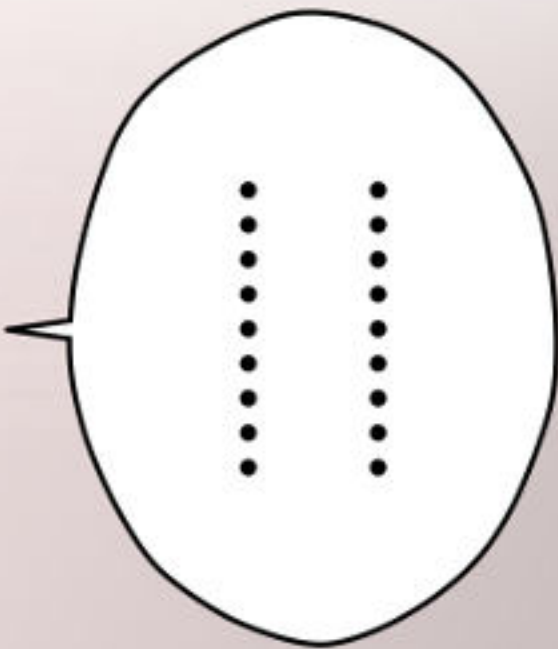
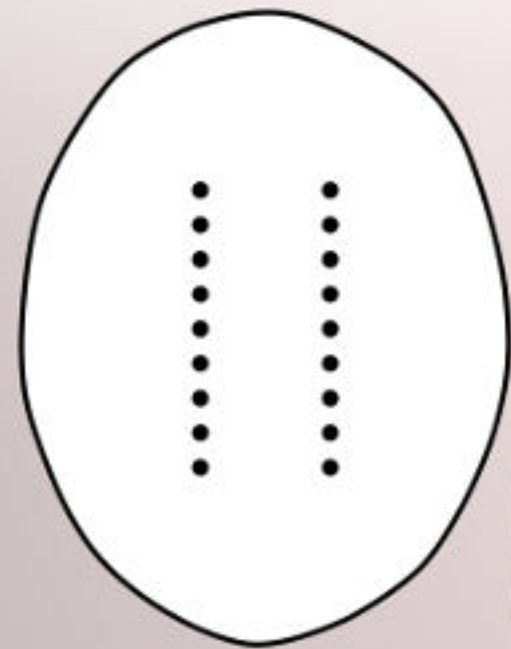
あつたかくて
居心地がいいんですよ

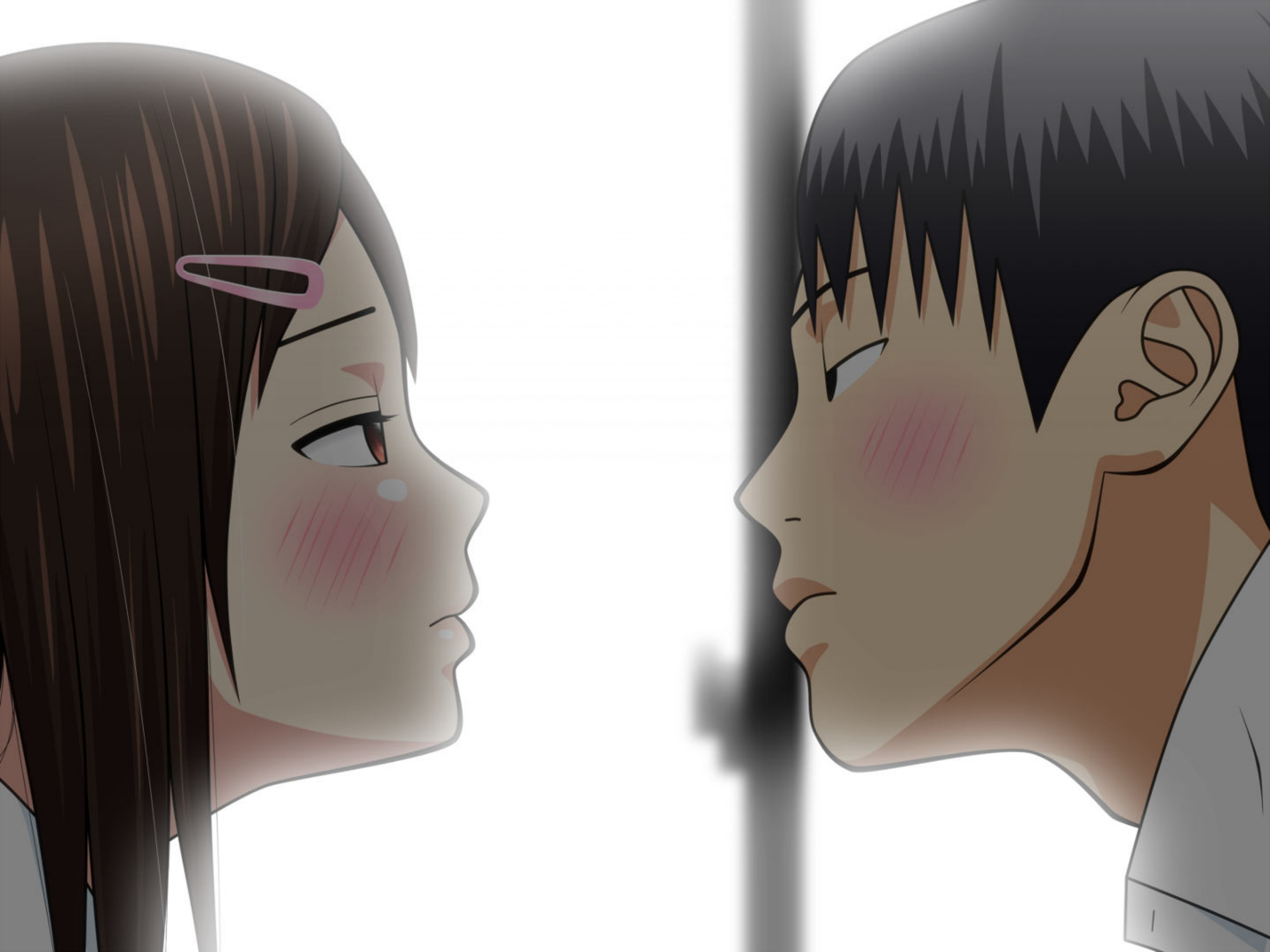
そ
そう？

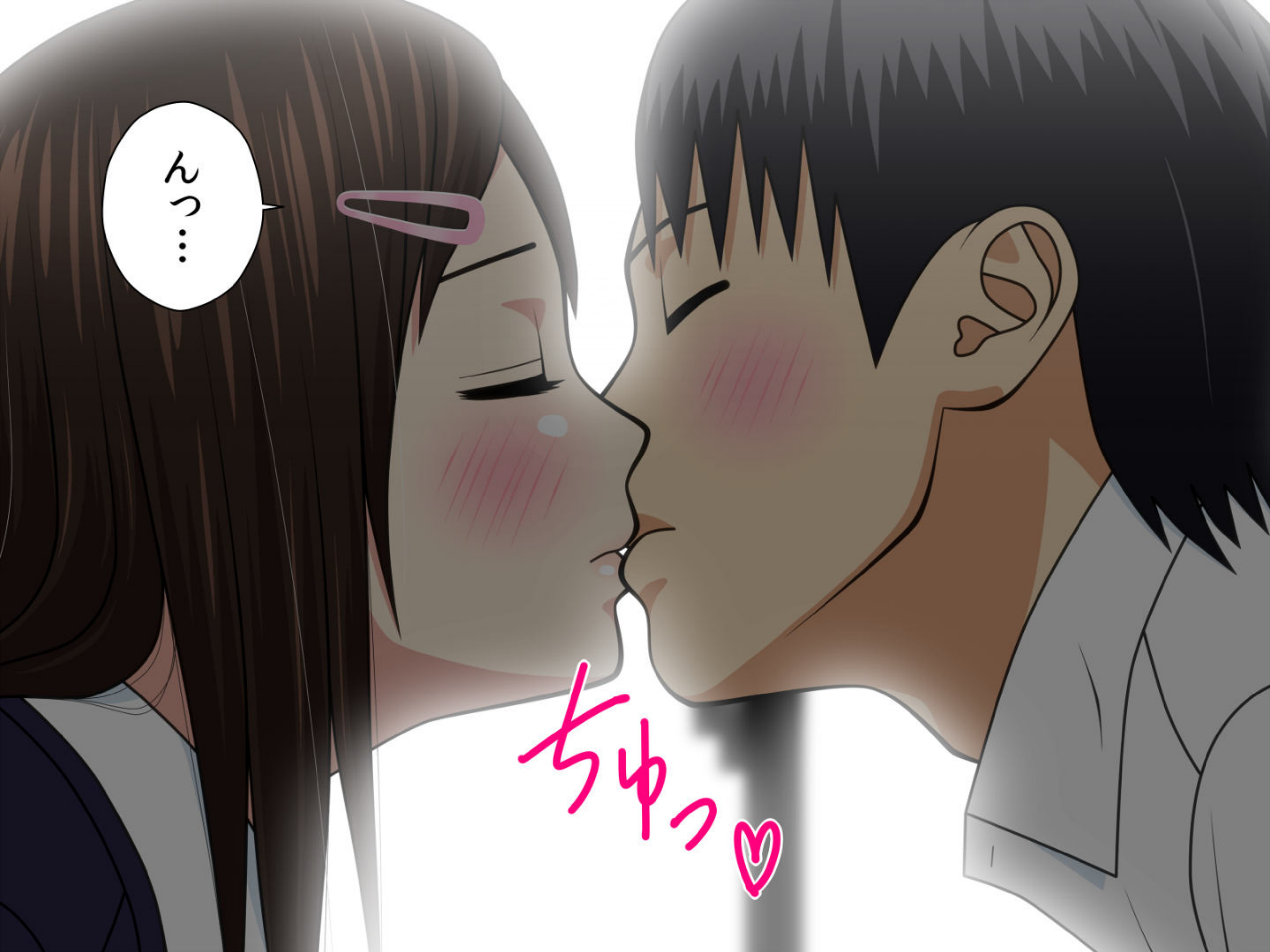


おつ 俺はさやかと
一緒にいると
癒されて落ち着くよ

い今は
その…
ドキドキ
してるけど

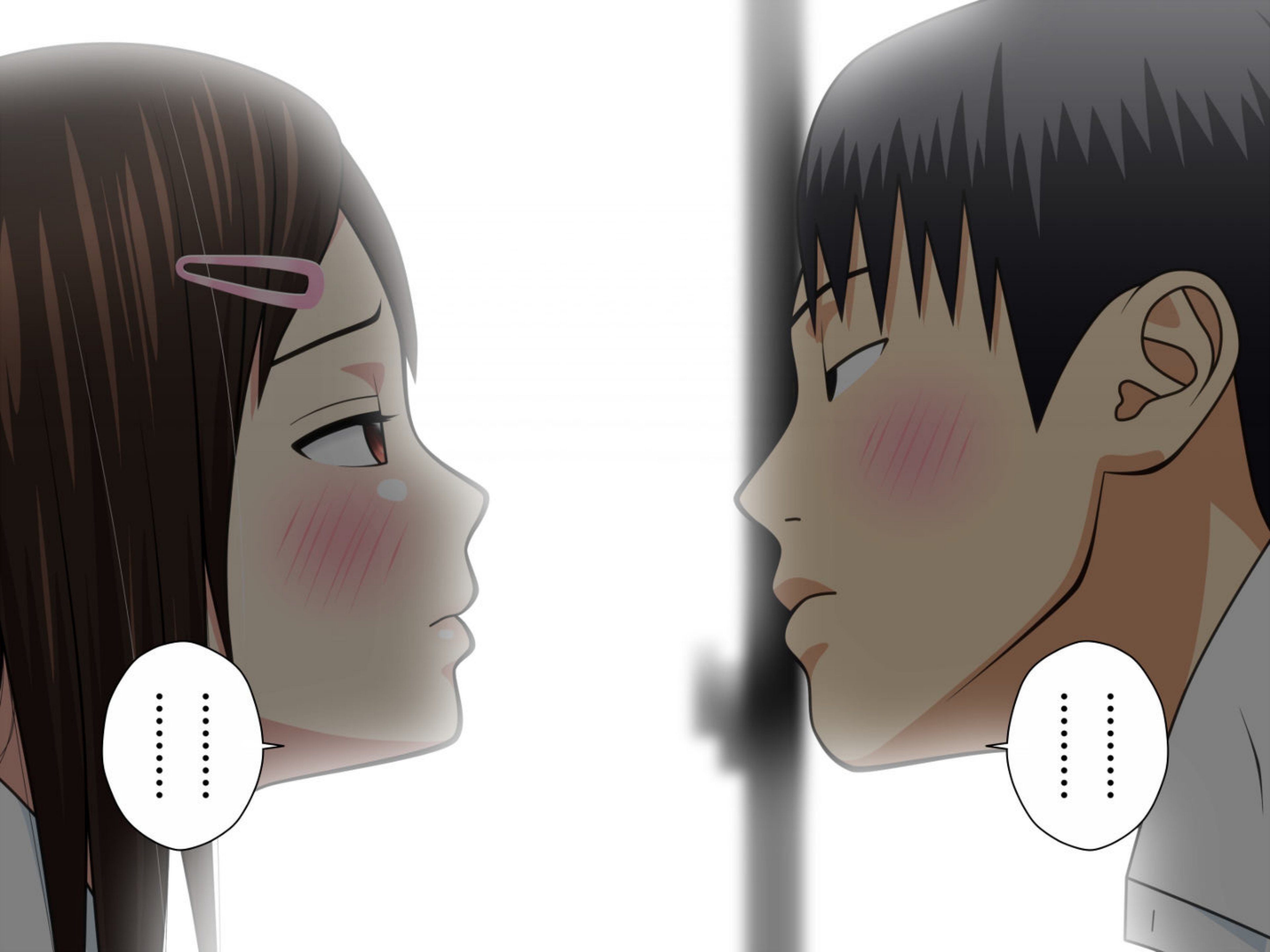


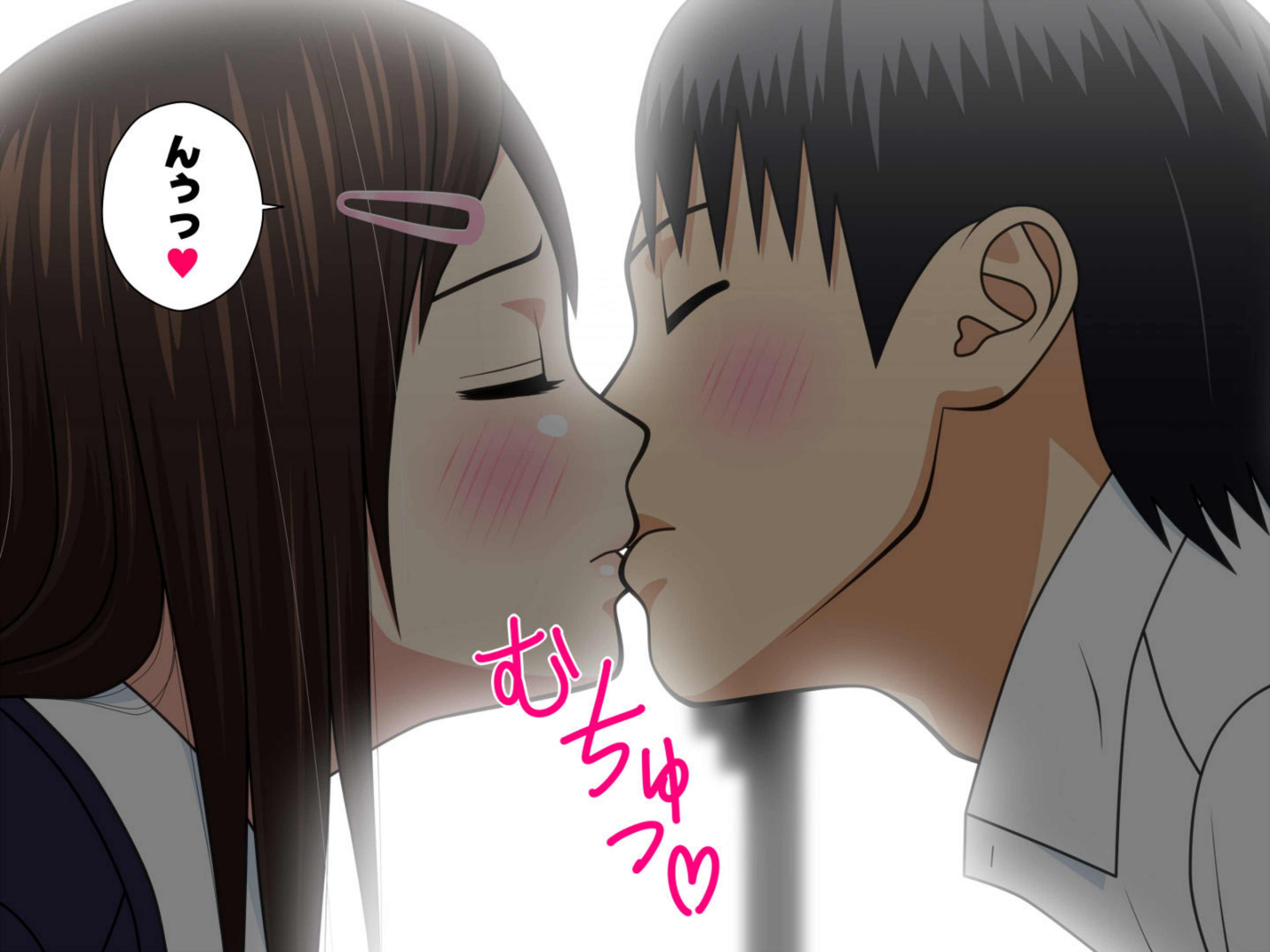




んっ...

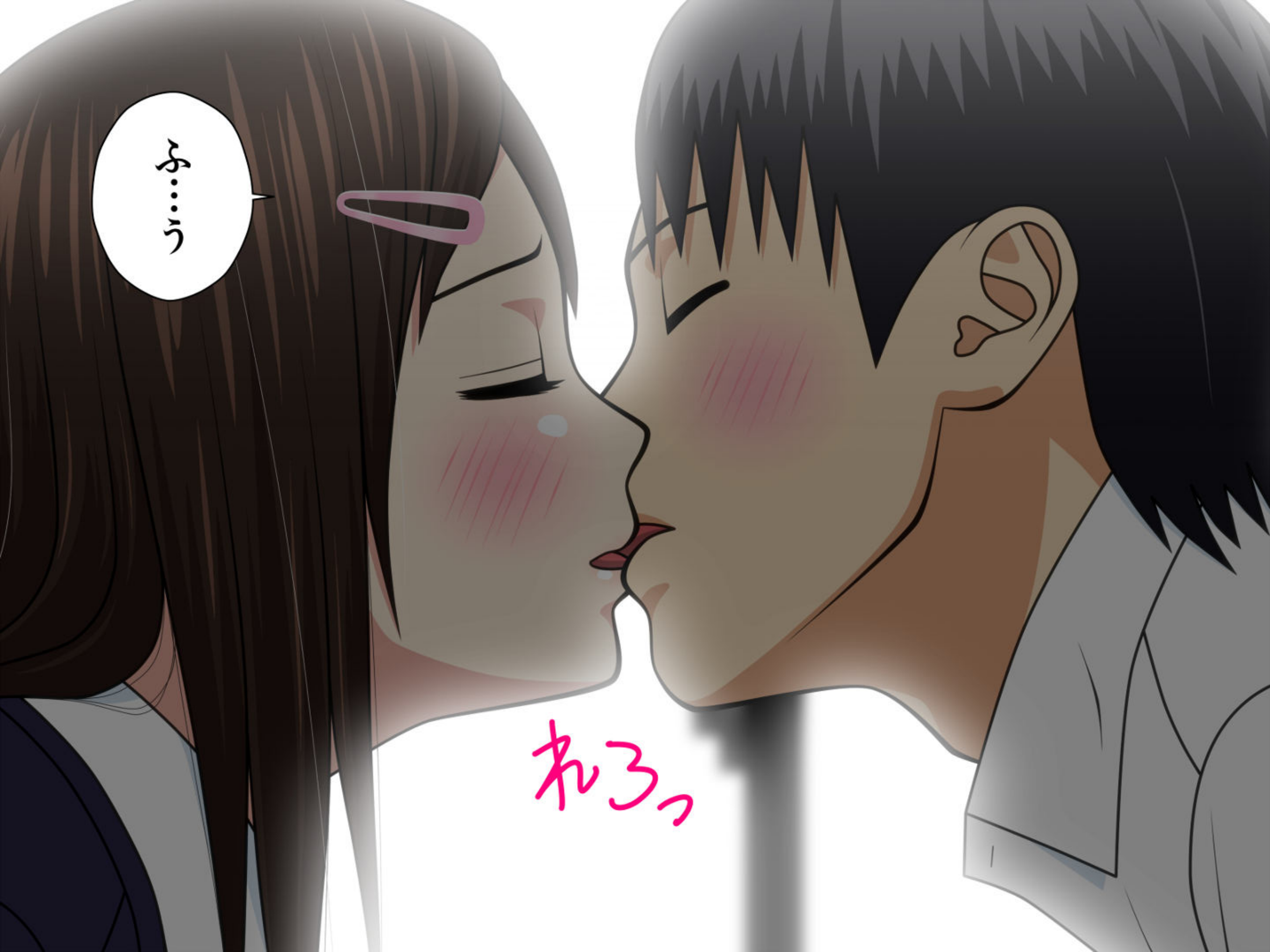
54っ♡





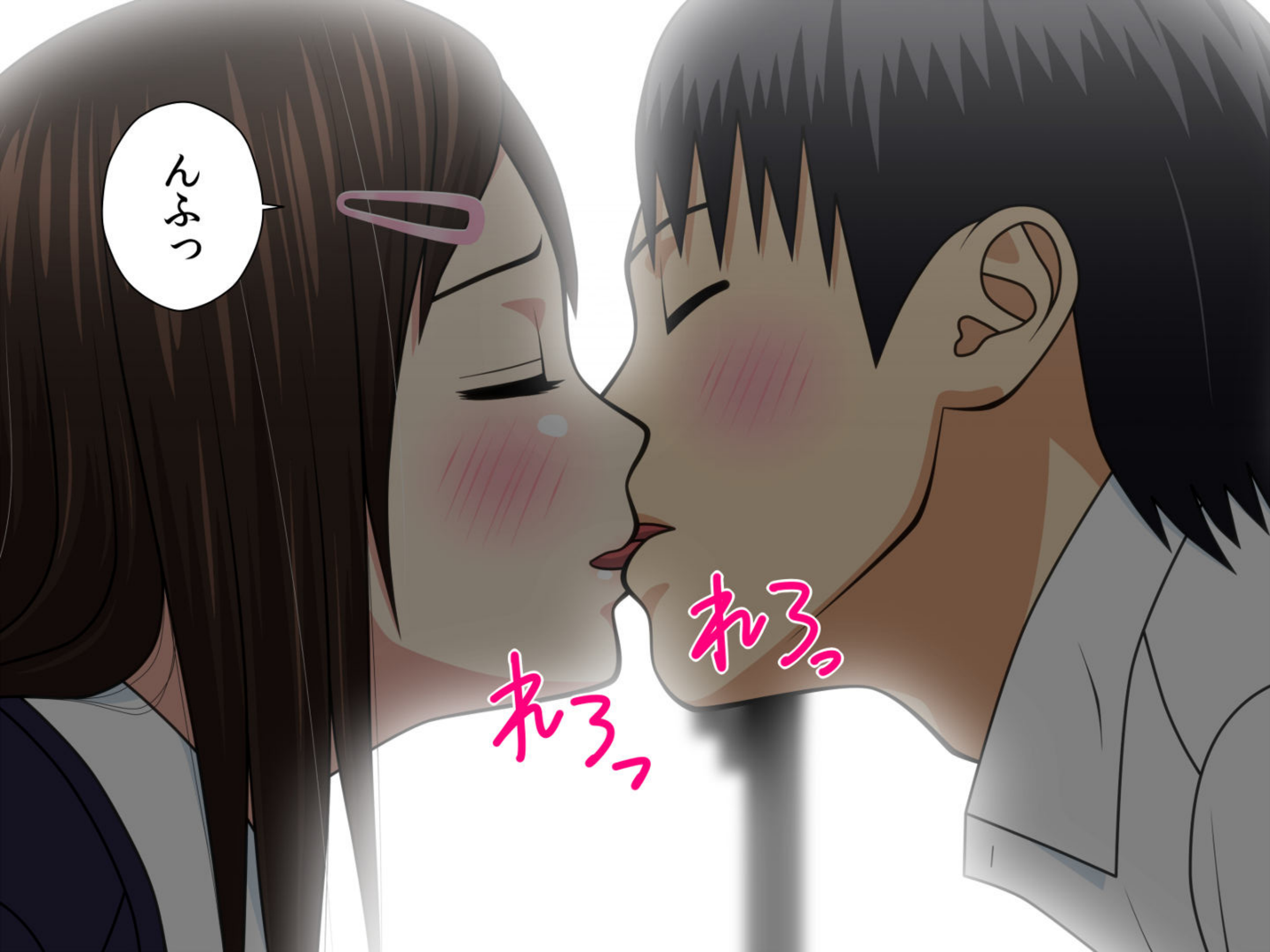
んっ♡

おちゅ♡



んっ...

おっ、



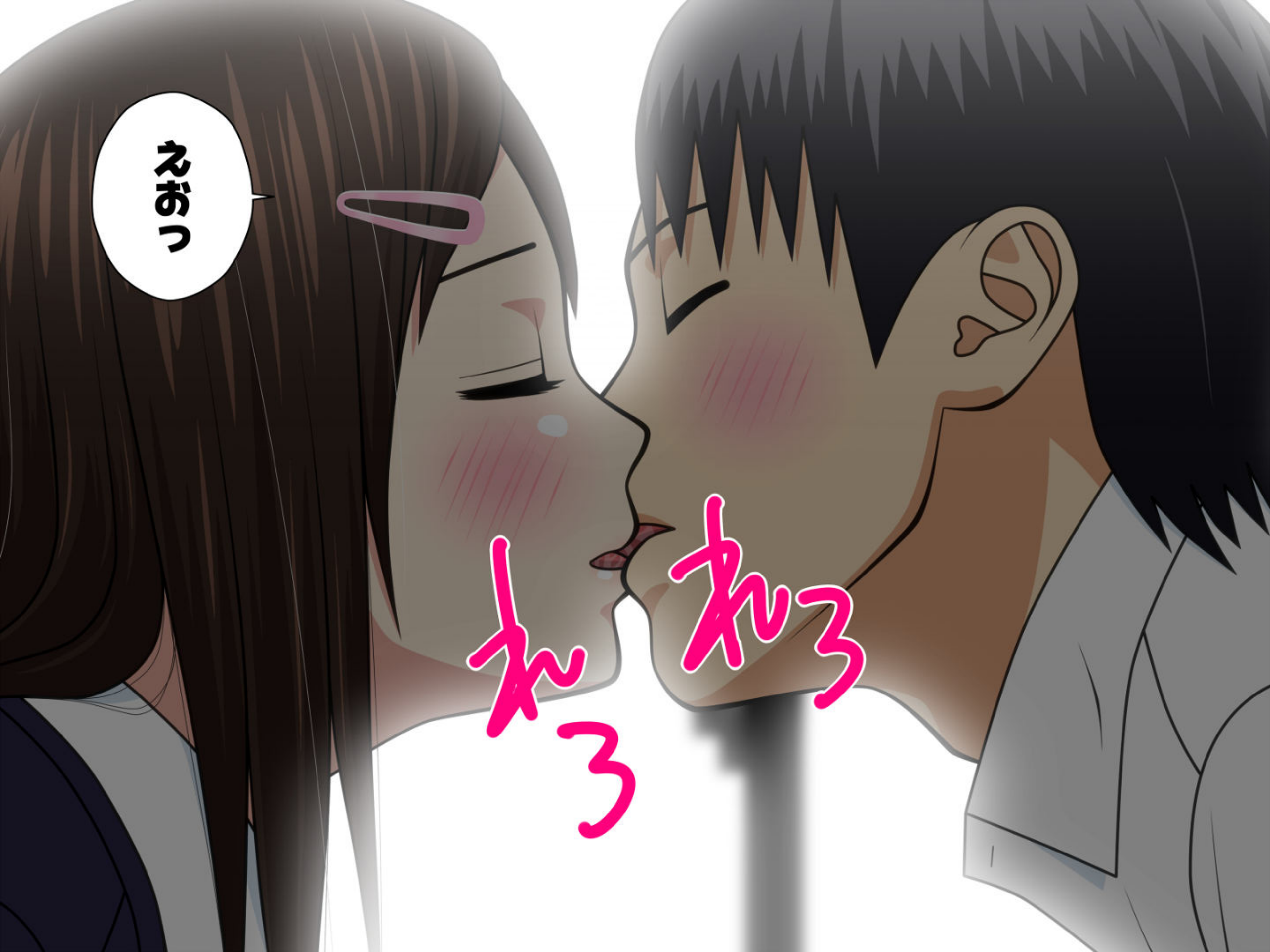
っ

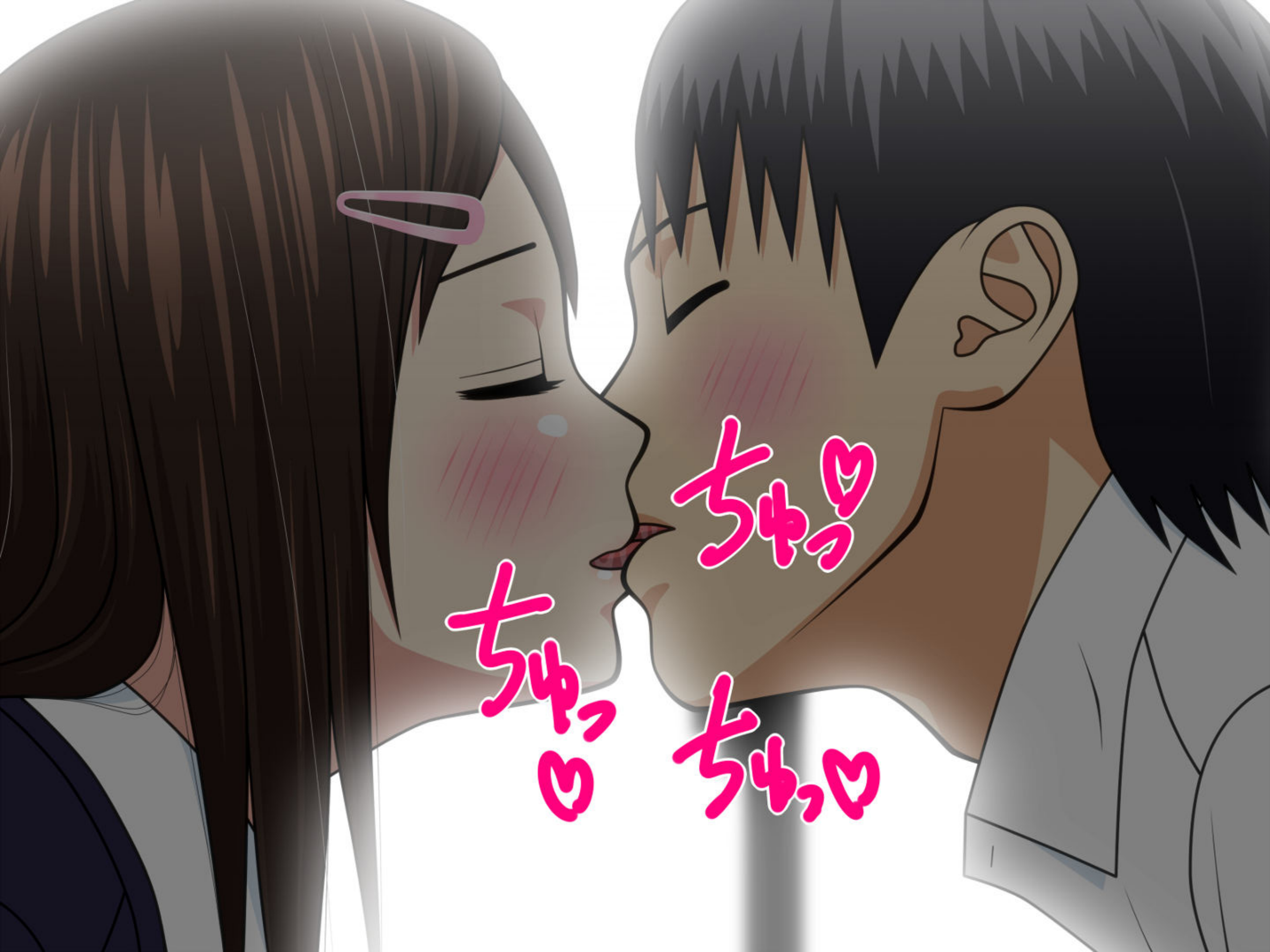
れっ

れっ

あはは

あはは





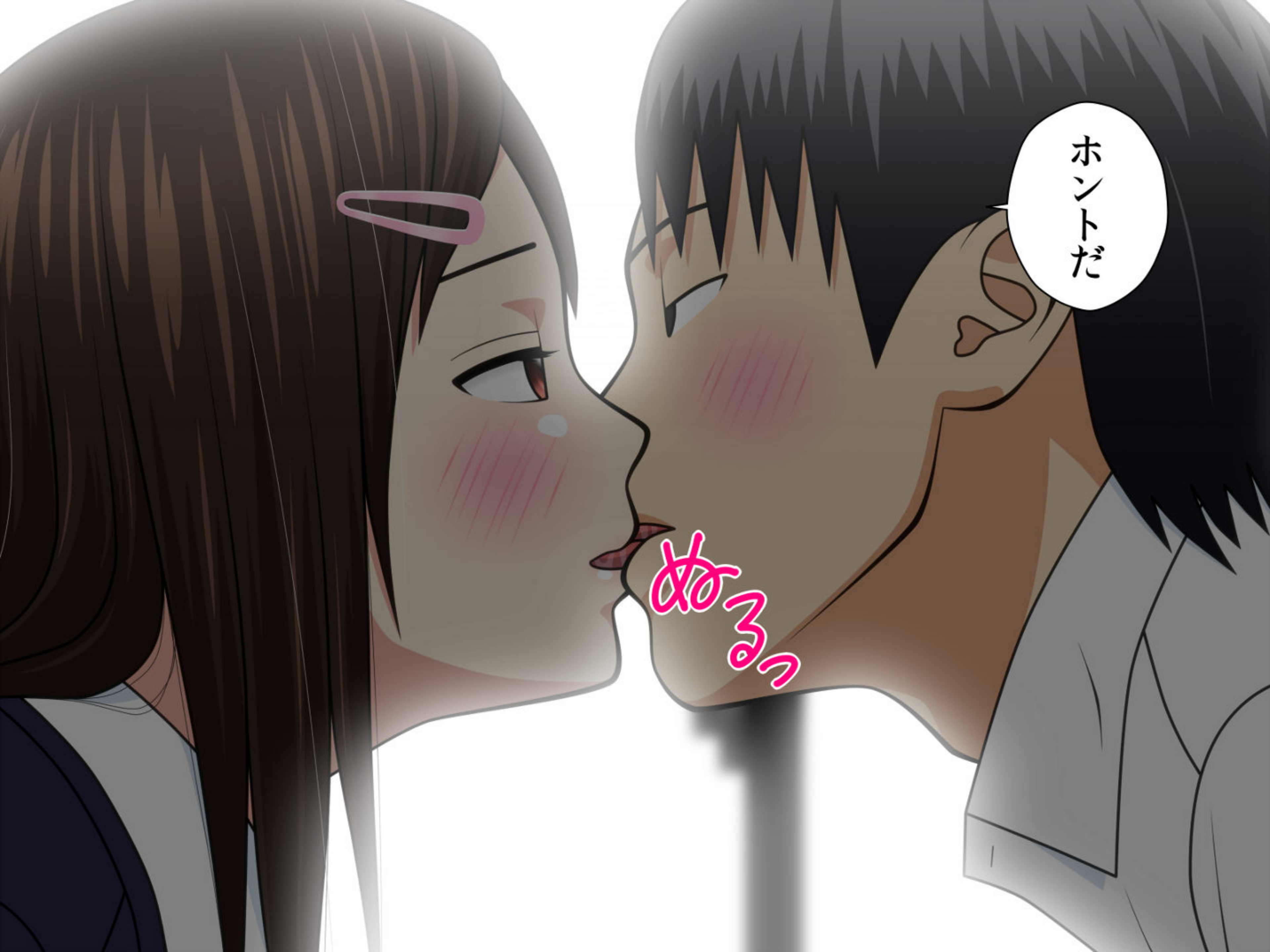
好き♡

好き♡

好き♡

さつき飲んあ
紅茶の味が
しまふ…

ちよん♡

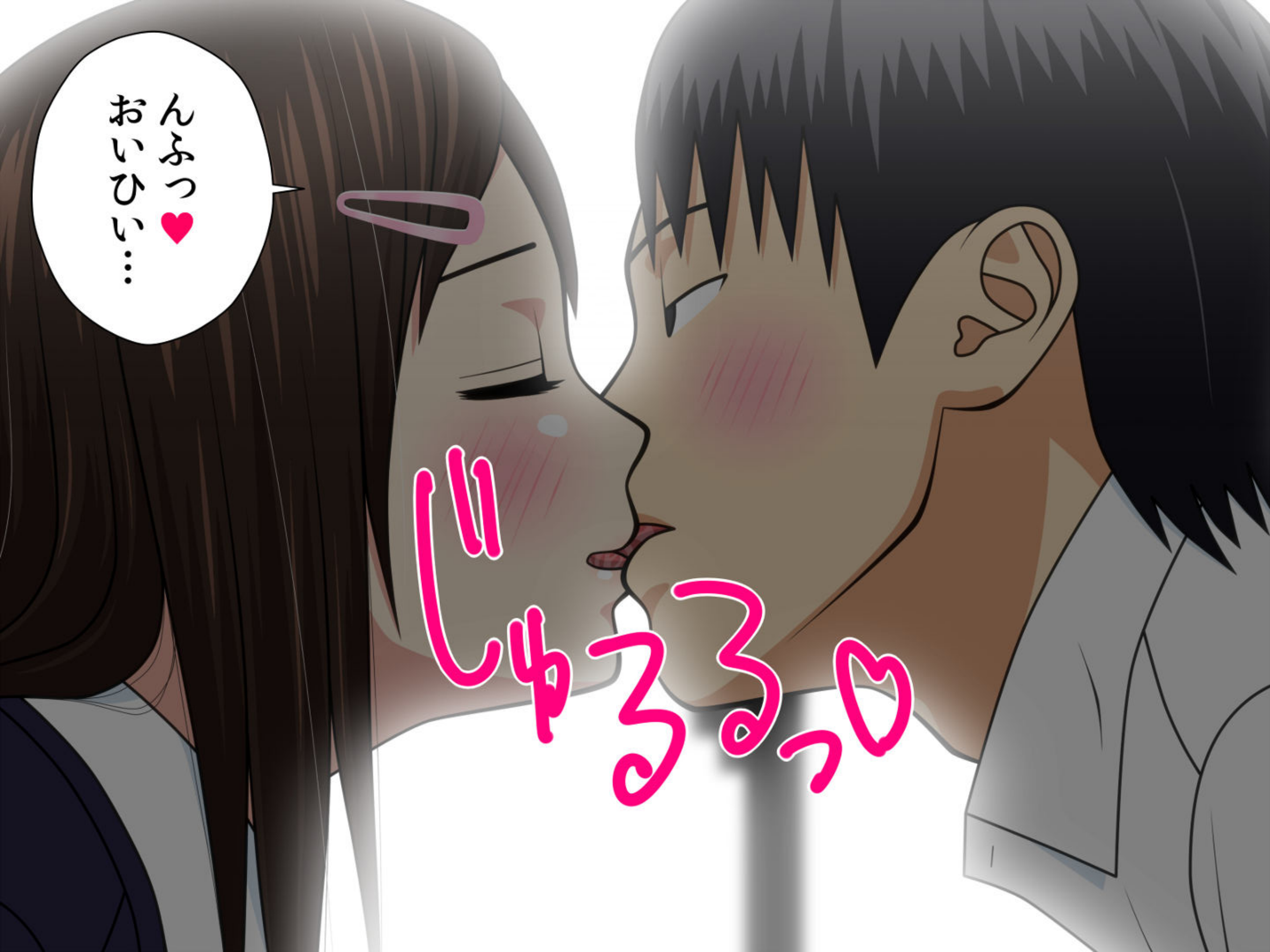


ホントだ

ぬるっ

んふっ
おいひい...
♡

しゅるるっ♡



せんふあい
前歯の裏
でささやわてる

あつ

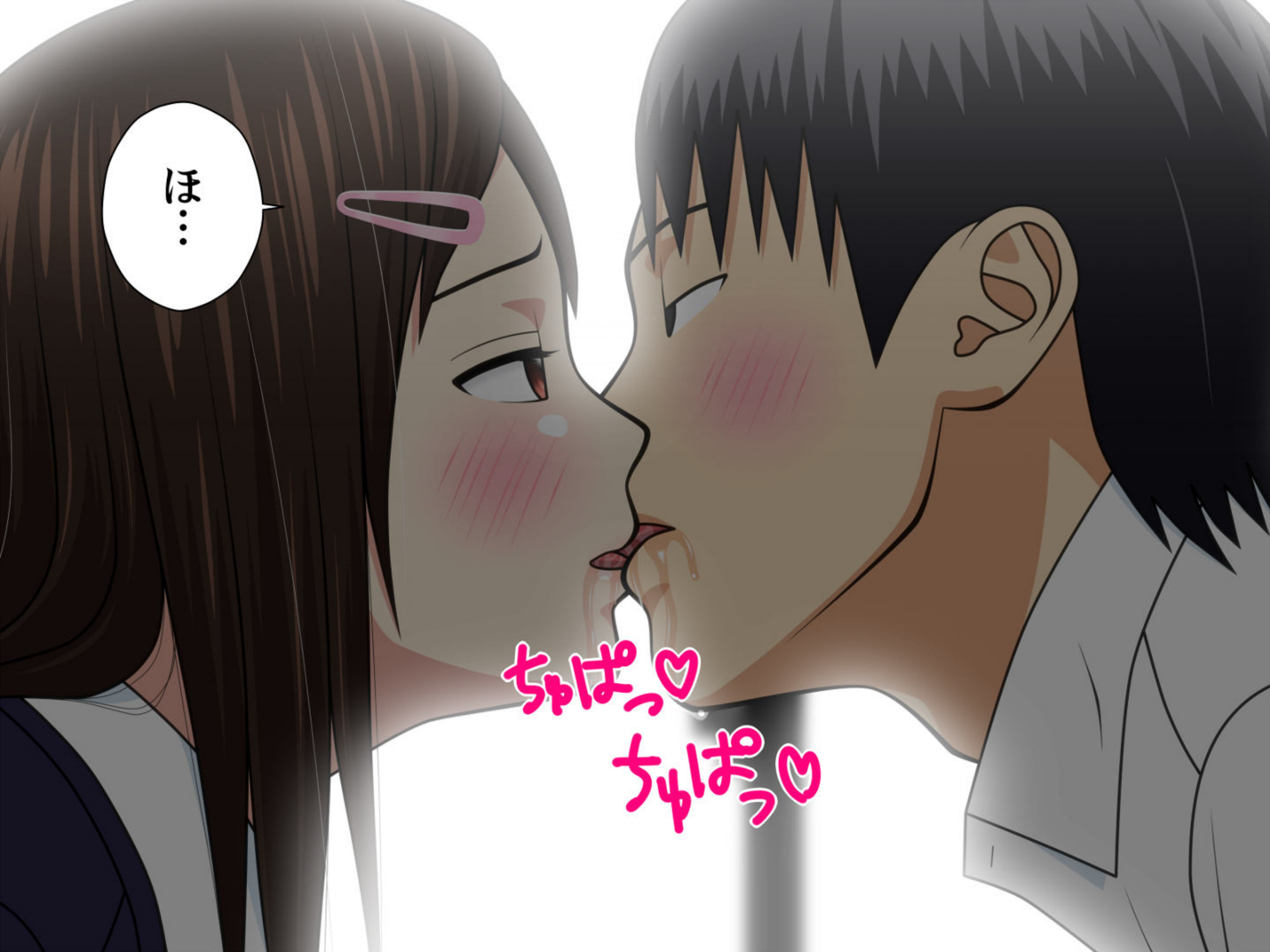
ごめん
歯磨いたん
だけどな

うふふ

くっ

んぽっ

ちゅぽっ♡



ほ...

ちっぱっ♡

ちっぱっ♡

ふんん…

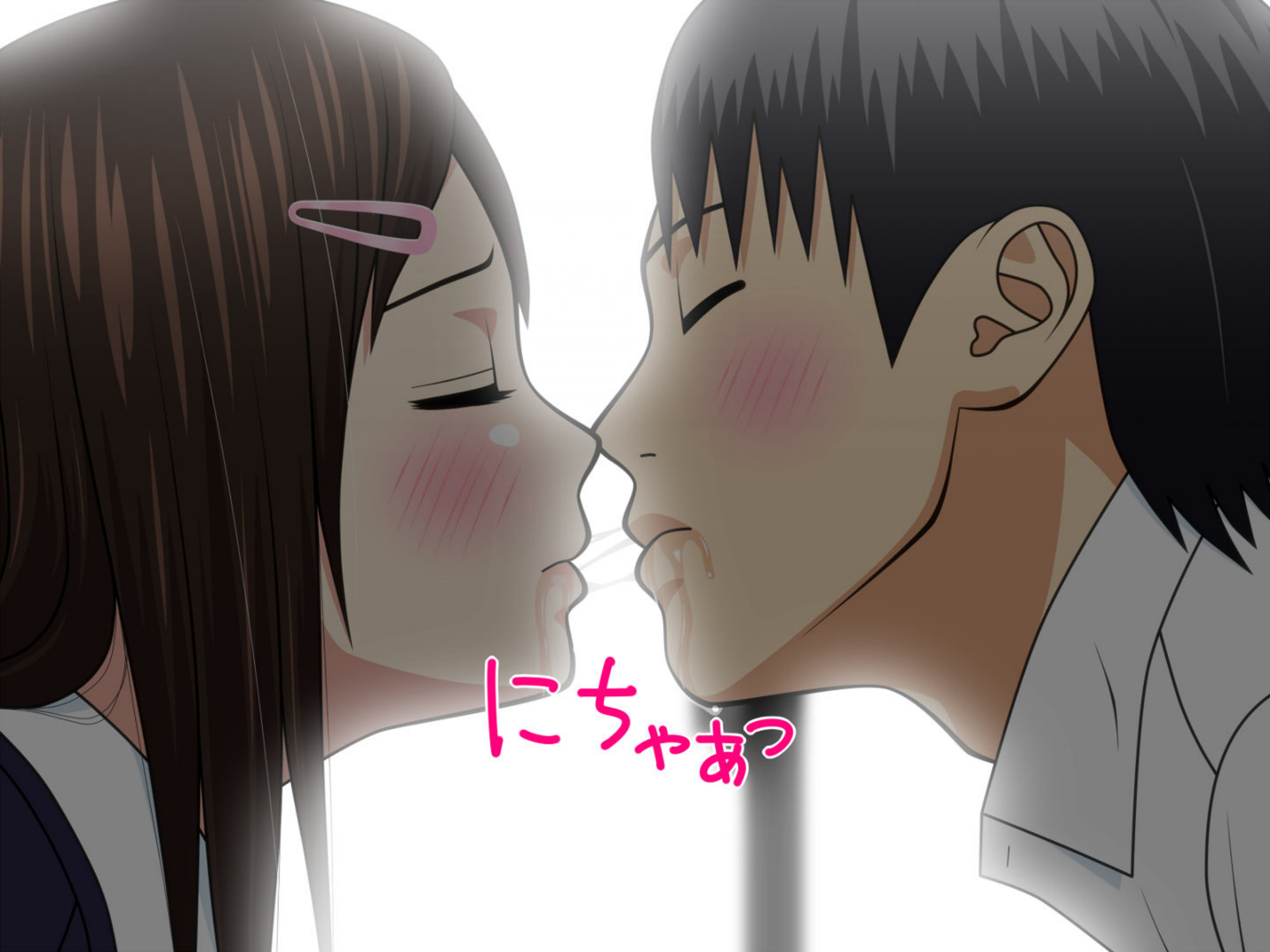
ちゅぽっ♡

ちゅぽっ♡

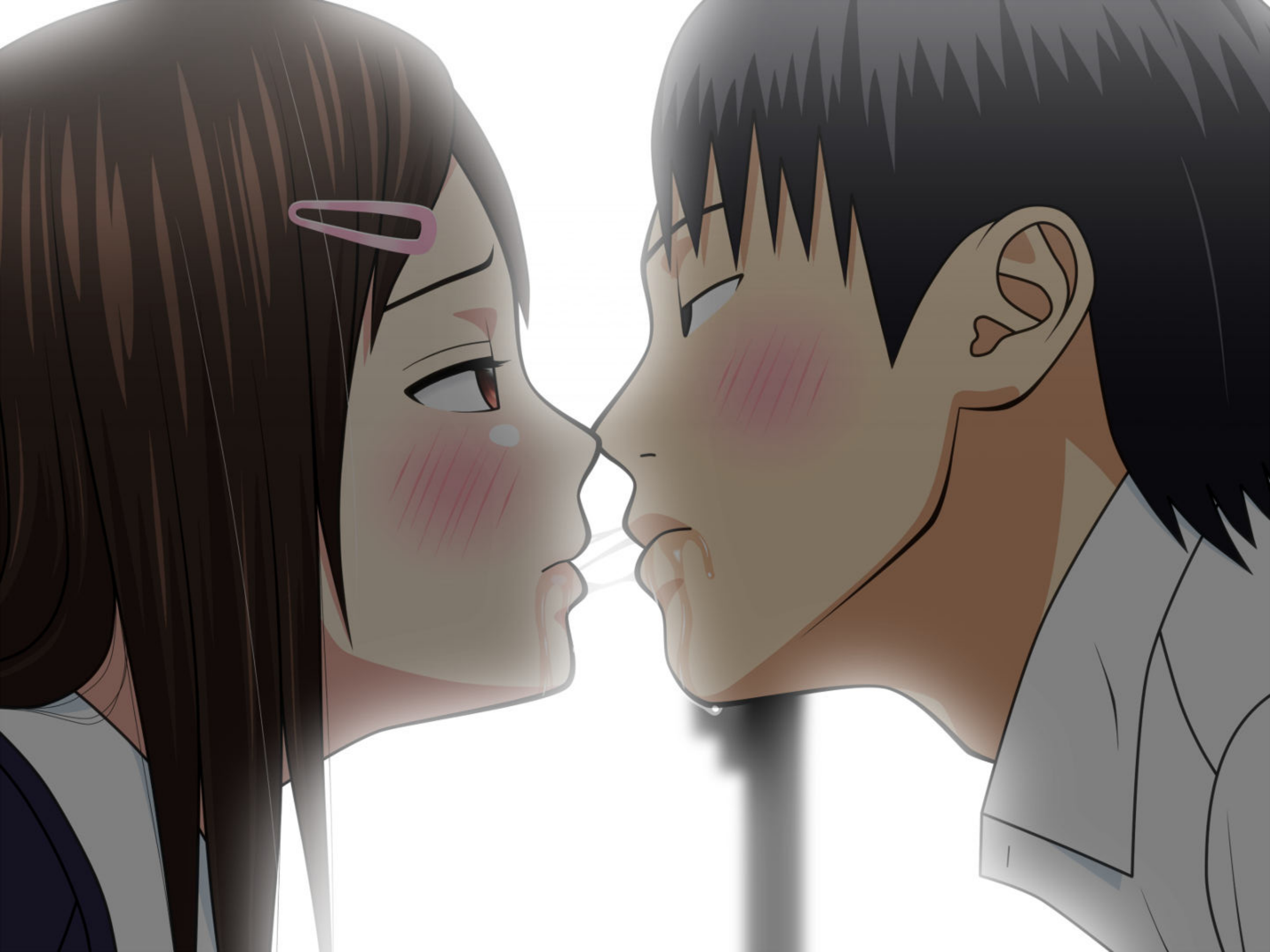


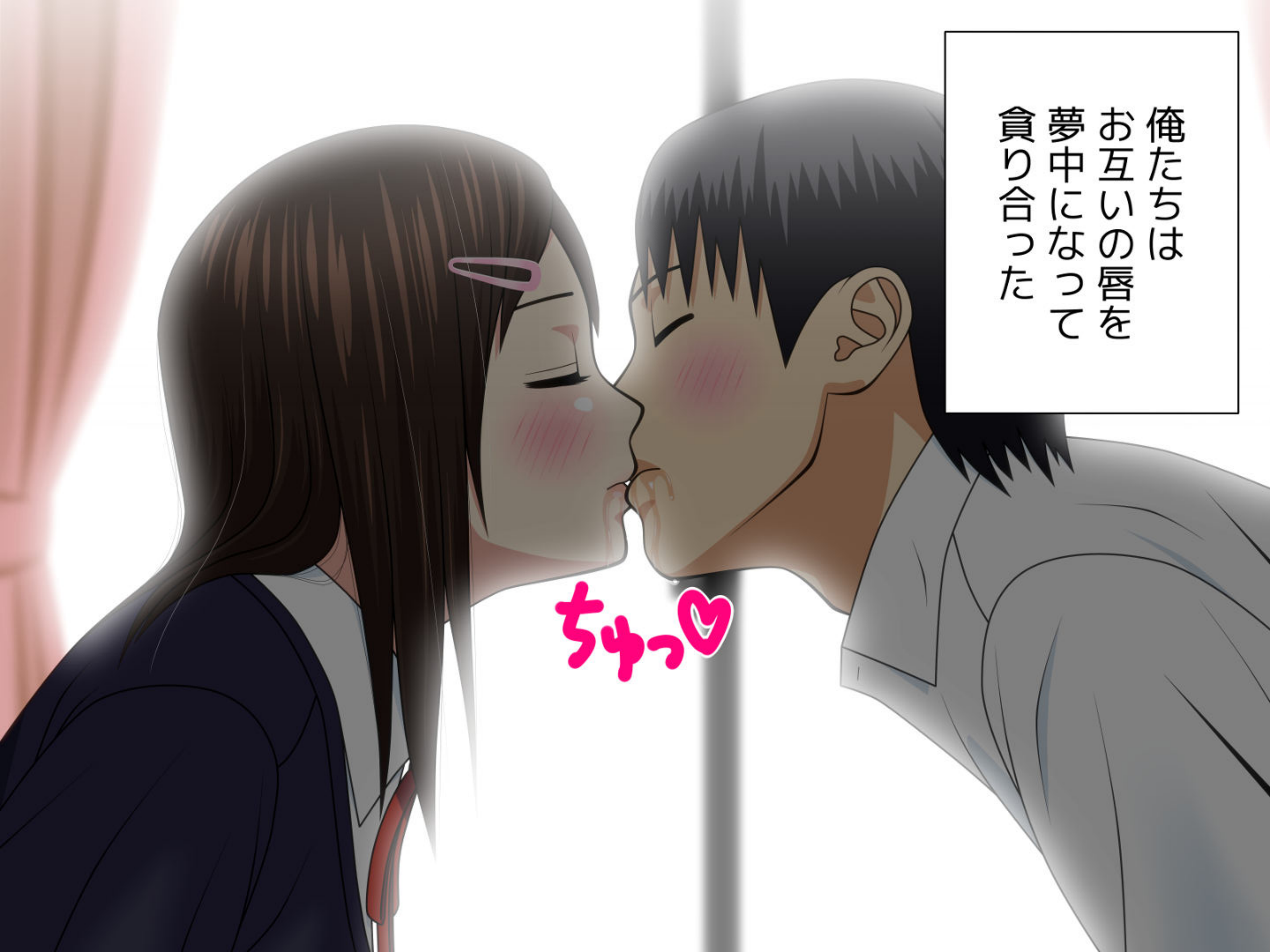
れっっ

ぬっっ♡



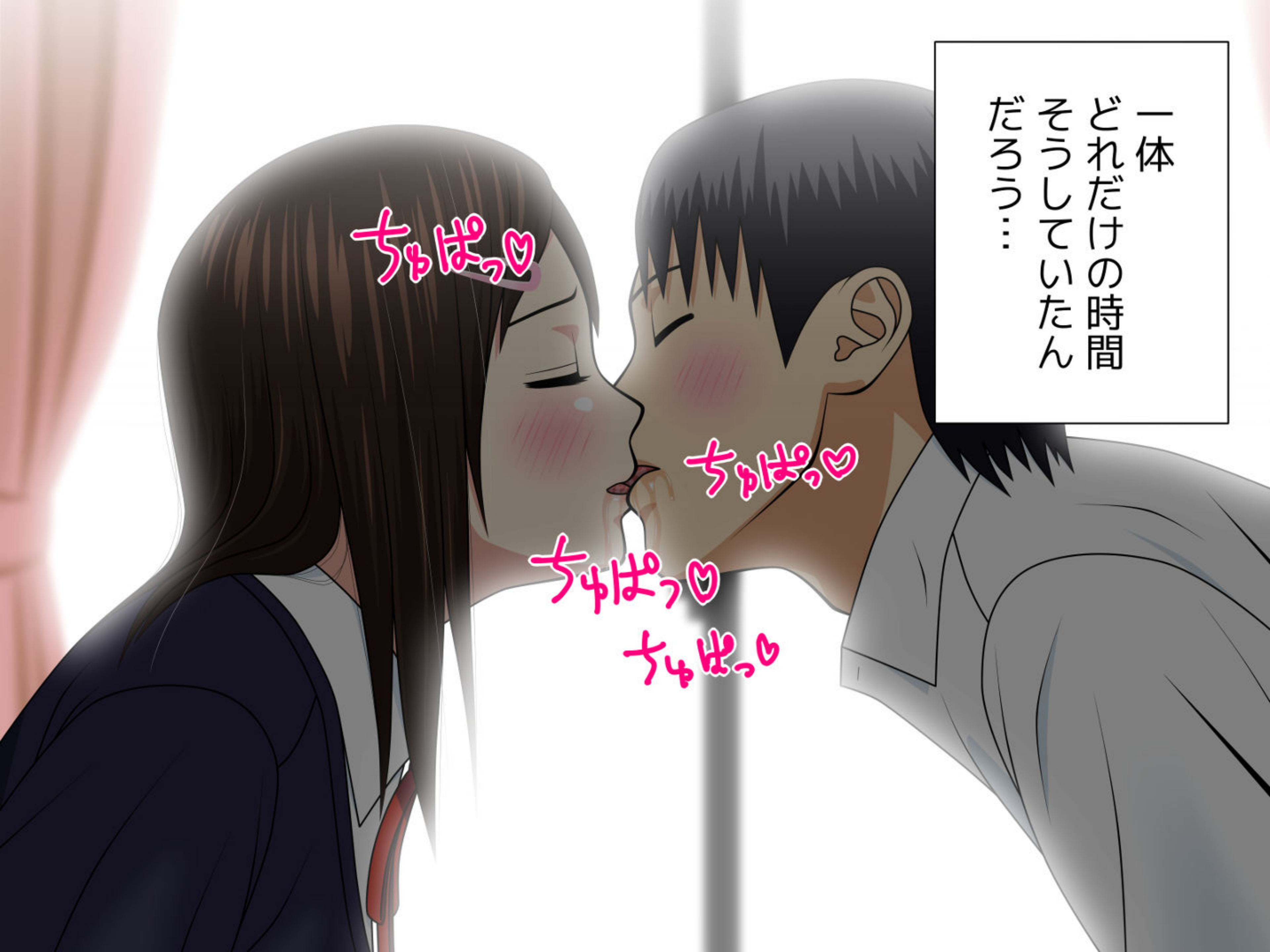
にちやあつ





俺たちは
お互いの唇を
夢中になつて
貪り合つた

ちゅっ♡



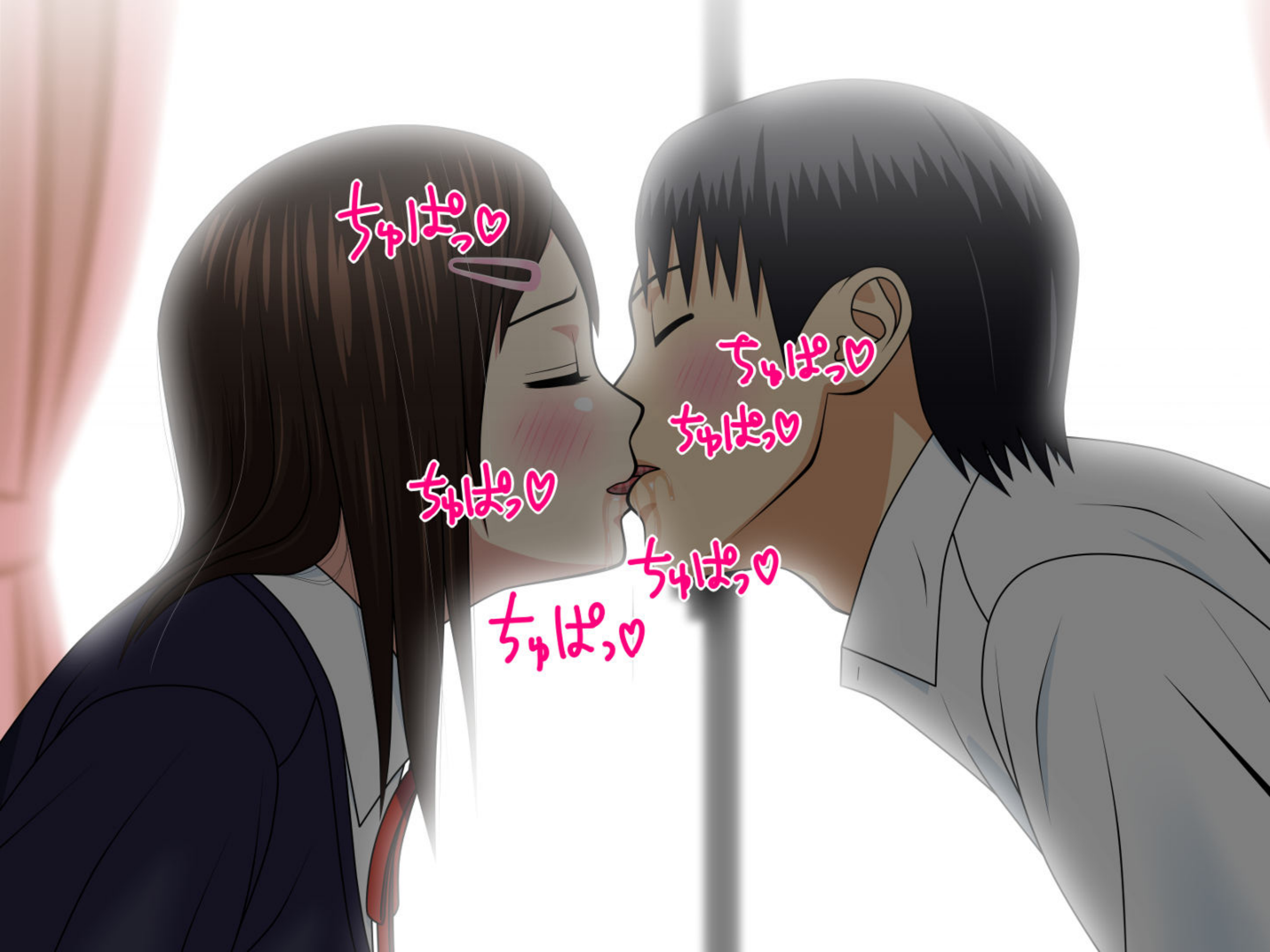
ちゅぽっ♡

ちゅぽっ♡

ちゅぽっ♡

ちゅぽっ♡

一体
どれだけの時間
そうしていたん
だろう…



ちやほっ♡

ちやほっ♡

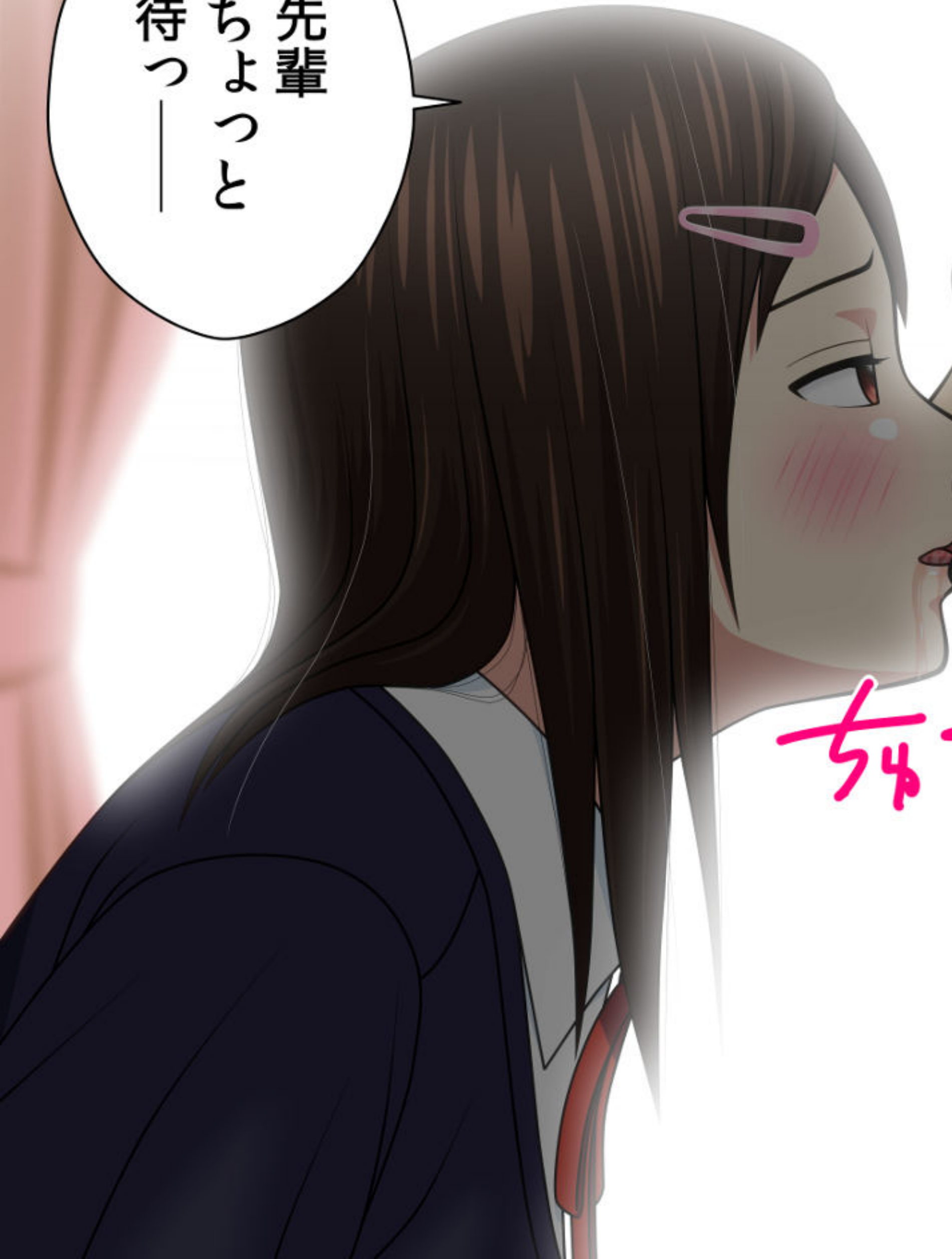
ちやほっ♡

ちやほっ♡

ちやほっ♡

ちやほっ♡

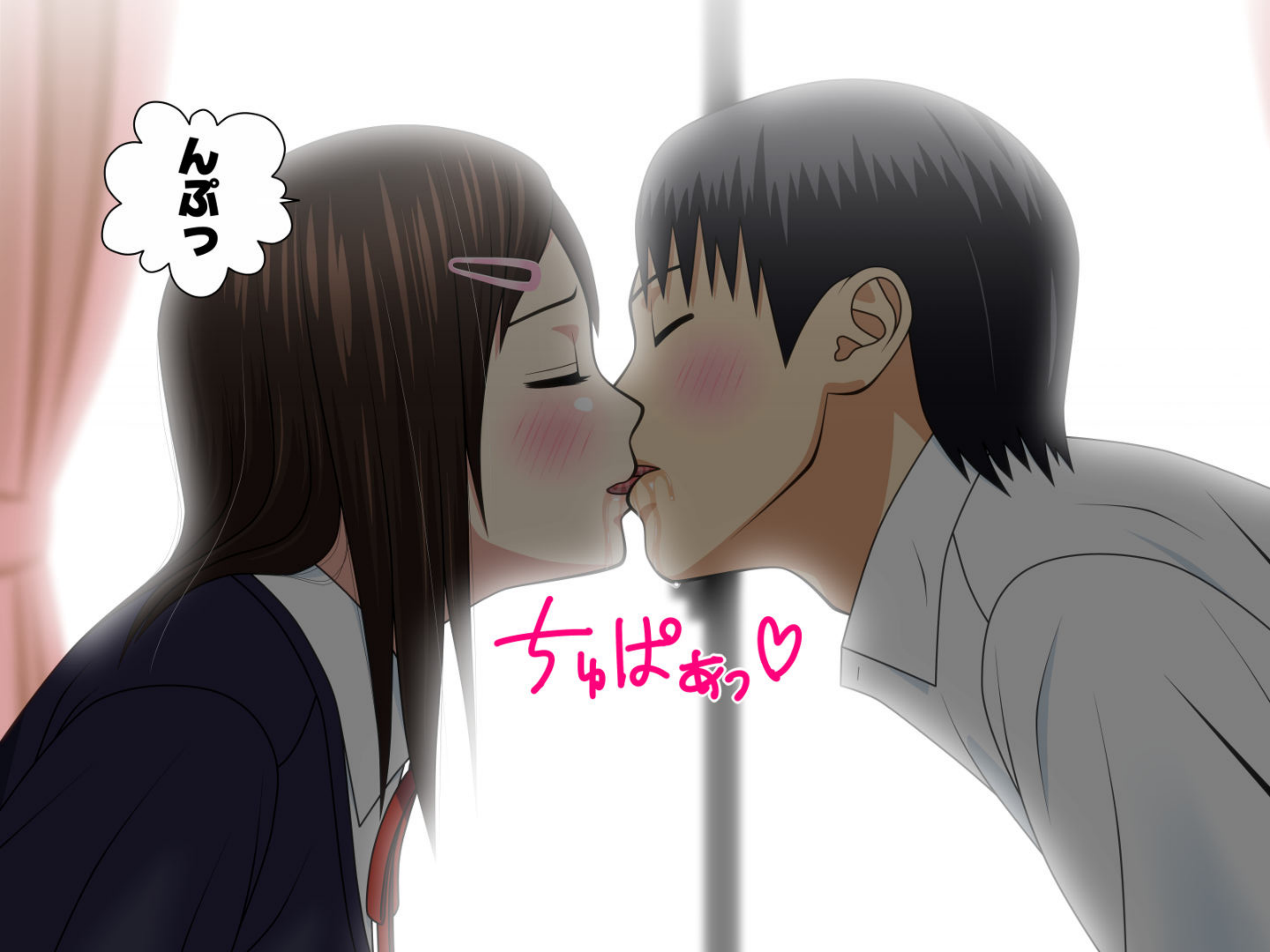
先輩
ちよつと
待っ——



ちよっ♡

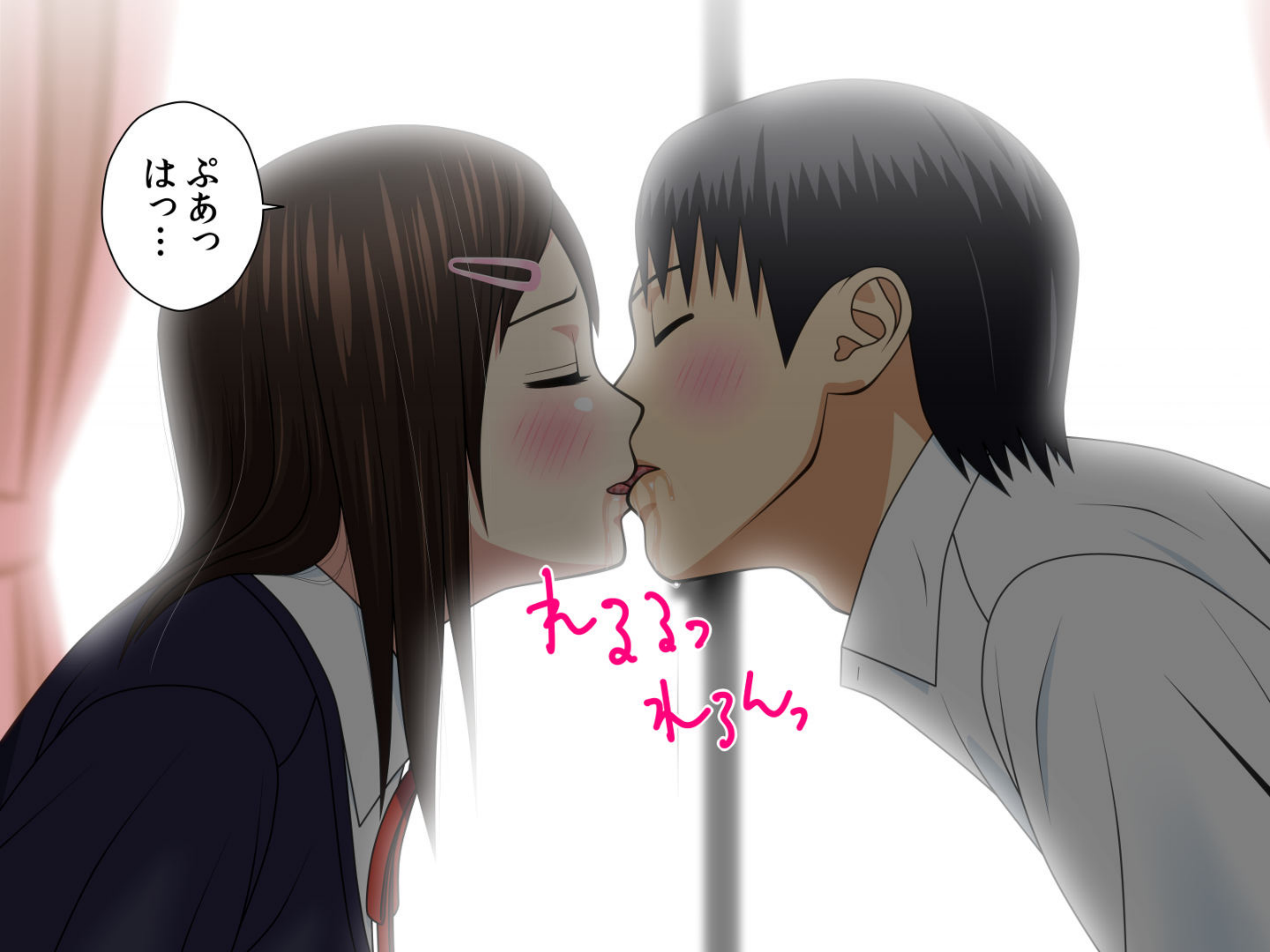
ちよっ♡

ぽたっ



んぱっ

女の子はあつ♡



はっ...
ふあっ

わんわん
わんわん

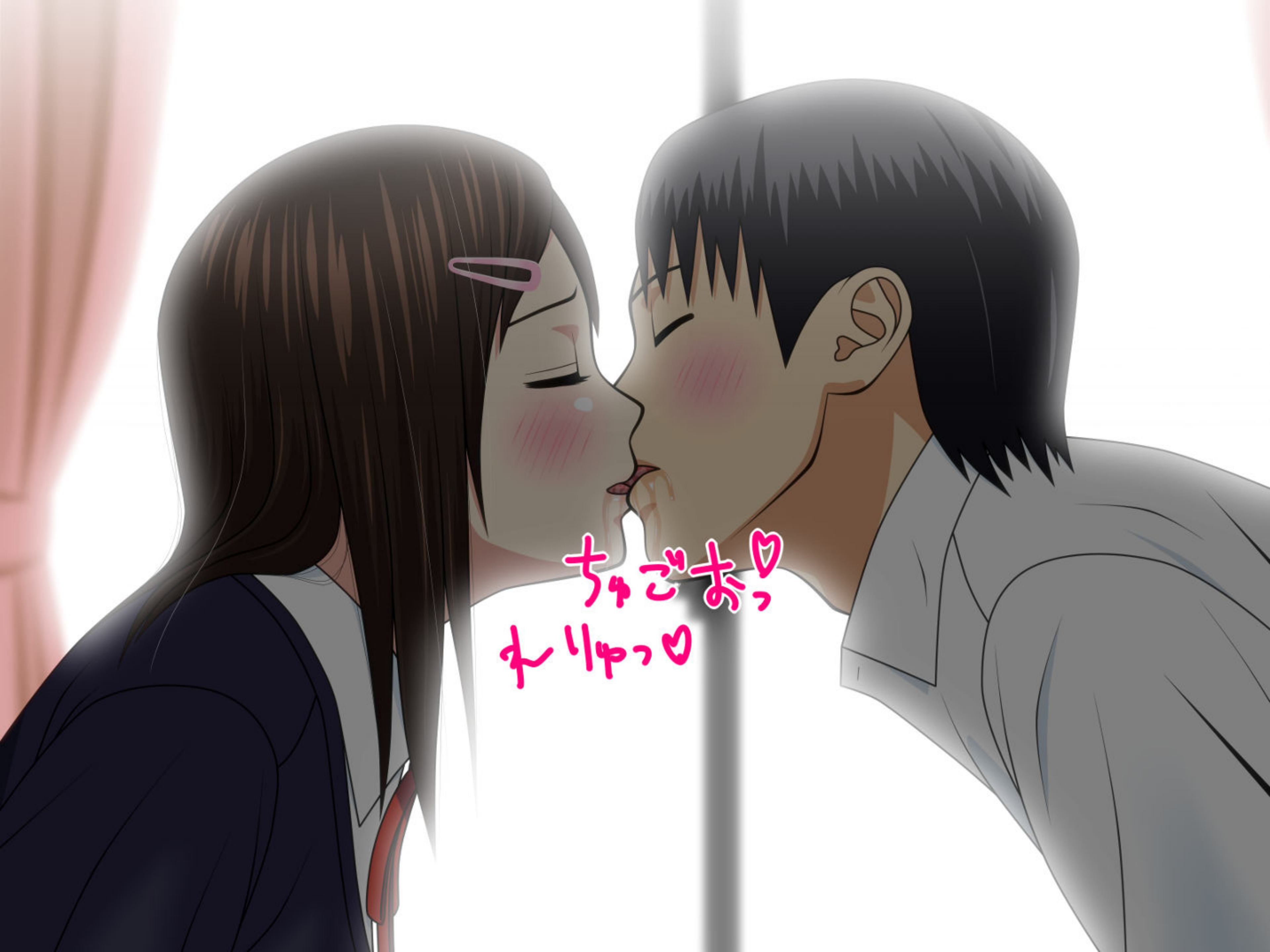
つふん
ん

ちゅちゅ
♡

れろろろろ
れろ♡

ぽたっ

ぽたっ



ちやごよ♡
わんや♡

うはあ…

じゅるるっ♡



んほろっ...
♡



とろかーっ

にゃにゃにゃ

ふふふ...



ちゅぽんっ♡



んんん

ちゅぽっ♡

ちゅぽっ♡





たばぽ

んっ…



つ
♡
うせん

ん
ん
ん

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ♡



うん

ほたっ





ぽたっ

んあっ

んんんんん

んんんんん

んんんんん



しえん…
ふあい…

と
ろ
お
お
〜
っ



ふんっ...

ふんっ...

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡







ちやほほ♡

ちやほほ♡

ちやほほ♡





はあっ

はあっ

あつ…

ダメです
先輩…

ちよつとだけ！
ちよつとだけ
だから！

まじっ

おなか...

ああん♥

が
と
と

い
い
い
い
い
い





おっはー!!

おっはー...

とどろかいた...

はじ...

まだ幼さ残る顔に
何とも不釣り合い
な体...!

